

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第67期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社サンユウ
【英訳名】	SANYU CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上野 隆
【本店の所在の場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【最寄りの連絡場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	7,274,259	7,214,793	14,839,048
経常利益又は経常損失() (千円)	88,916	59,958	166,161
四半期(当期)純損失() (千円)	35,566	96,134	29,891
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	51,799	141,925	19,224
純資産額(千円)	6,755,868	6,604,607	6,788,444
総資産額(千円)	15,900,052	15,353,897	16,400,902
1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	5.94	16.07	5.00
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	42.5	43.0	41.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	86,018	189,413	355,661
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	3,428	214,730	434,985
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	393,817	11,732	239,101
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,788,557	1,049,194	1,465,071

回次	第66期 第2四半期 連結会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	1.99	4.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要等を背景に緩やかな改善が見られたものの、原子力発電所の事故の影響による電力需給の問題、欧州の政府債務危機及び円高の長期化など依然として厳しい状況が続きました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、主要需要家である自動車業界がエコカー補助金の恩恵を受け比較的好調に推移しましたが、建設機械・産業機械業界が輸出の減少等で低迷したことにより、生産活動は弱含みとなりました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保、生産性の向上及びコスト削減に取り組みました。

その結果、販売数量は48千トン（前年同四半期比5.1%増）になりましたが、製品価格下落の影響により売上高は7,214百万円（前年同四半期比0.8%減）と若干の減収になりました。

損益につきましては、製品価格下落時における簿価の高い在庫の払い出しやエネルギーコストの高騰による諸資材購入価格の上昇に加え、株価の下落による退職給付費用の積み増しや棚卸評価損の計上などにより当社単体の黒字が縮小したこと、また、株式会社サンユウ九州において減価償却費などの固定費負担が大きく赤字を余儀なくされたことなどにより、営業損失68百万円（前年同四半期は96百万円の営業利益）、経常損失は59百万円（前年同四半期は88百万円の経常利益）、四半期純損失は96百万円（前年同四半期は35百万円の四半期純損失）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は28千トン（前年同四半期比8.9%減）となり、売上高についても4,643百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量が20千トン（前年同四半期比32.7%増）となり、売上高についても2,571百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は15,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,047百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が415百万円、受取手形及び売掛金が235百万円、商品及び製品が225百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は8,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ863百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が840百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,604百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が138百万円減少したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,049百万円となり、前第2四半期連結累計期間末に比べ739百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は189百万円(前年同四半期は86百万円の獲得)となりました。これは主に、減価償却費を325百万円計上したことや売上債権が235百万円減少したことで資金が増加しましたが、仕入債務が847百万円減少したことにより資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は214百万円(前年同四半期は3百万円の獲得)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入が14百万円ありましたが、有形固定資産の取得による支出が211百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は11百万円(前年同四半期は393百万円の調達)となりました。これは主に、長期借入金の借入1,000百万円がありましたが、長期借入金の返済969百万円や配当金の支払41百万円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設のうち、(株)サンユウで計画しておりました太径伸線機(投資予定総額：160百万円、着手：平成23年12月、完了予定日：平成24年6月)は平成24年7月に完了いたしました。なお、同設備につきましては、当社が購入し(株)サンユウ九州に賃貸しております。

また、前連結会計年度末において計画中であった主要な設備のうち、(株)サンユウ九州で計画しておりました渦流探傷機(投資予定総額：25百万円、着手：平成24年6月、完了予定日：平成24年9月)は完了予定日を平成24年12月に変更しております。なお、同設備につきましては、当社が購入し同社に賃貸することに変更いたしました。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普 通 株 式	19,344,000
計	19,344,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普 通 株 式	6,091,000	6,091,000	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	6,091,000	6,091,000	-	-

(注)平成24年9月4日開催の取締役会決議により、平成24年10月1日付で単元株式数の変更及び定款の一部変更が行われ、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	6,091	-	1,513,687	-	1,317,207

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
新日本製鐵株式會社	東京都千代田区丸の内2丁目6番1号	2,035	33.41
株式会社メタルワン	東京都港区芝3丁目23番1号	315	5.17
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	東京都中央区日本橋1丁目4番1号	295	4.84
日鐵商事株式會社	東京都千代田区大手町2丁目2番1号	250	4.10
永田麻里	横浜市都筑区	213	3.50
サンユウ従業員持株会	大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号	188	3.09
佐藤商事株式會社	東京都千代田区丸の内1丁目8番1号	180	2.96
柏木伸夫	大阪府吹田市	135	2.23
株式会社大阪螺子製作所	大阪府茨木市岩倉町1番6号	126	2.07
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	110	1.81
計	-	3,848	63.18

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 新日本製鐵株式會社は、平成24年10月1日付をもって、住友金属工業株式会社と合併し、商号を新日鐵住金株式会社に変更しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 108,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,952,000	5,952	-
単元未満株式	普通株式 31,000	-	-
発行済株式総数	6,091,000	-	-
総株主の議決権	-	5,952	-

(注) 平成24年9月4日開催の取締役会決議により、平成24年10月1日付で単元株式数の変更及び定款の一部変更が行われ、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンユウ	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号	46,000	-	46,000	0.76
大同磨鋼材工業株式会社	広島市西区小河内町1丁目25番13号	62,000	-	62,000	1.02
計	-	108,000	-	108,000	1.77

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,465,071	1,049,194
受取手形及び売掛金	1 4,468,241	1 4,233,155
商品及び製品	2,303,513	2,077,930
原材料及び貯蔵品	1,476,345	1,479,671
繰延税金資産	81,572	73,019
その他	249,197	217,383
貸倒引当金	21,361	17,629
流動資産合計	10,022,581	9,112,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,079,752	1,990,311
機械装置及び運搬具(純額)	2,098,395	2,178,435
土地	1,448,032	1,448,032
リース資産(純額)	21,424	20,188
建設仮勘定	57,000	8,034
その他(純額)	86,495	81,443
有形固定資産合計	5,791,099	5,726,446
無形固定資産		
のれん	66,166	57,896
その他	36,058	36,679
無形固定資産合計	102,225	94,575
投資その他の資産		
投資有価証券	387,006	315,933
長期貸付金	63,137	52,620
繰延税金資産	-	14,805
その他	48,983	51,805
貸倒引当金	14,131	15,014
投資その他の資産合計	484,995	420,149
固定資産合計	6,378,320	6,241,171
資産合計	16,400,902	15,353,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 4,626,969	1 3,786,949
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,454,582	1,159,955
リース債務	2,472	2,472
未払法人税等	101,920	32,238
賞与引当金	115,204	114,849
その他	345,806	391,644
流動負債合計	6,746,953	5,588,108
固定負債		
長期借入金	2,418,125	2,742,811
リース債務	18,952	17,716
繰延税金負債	43,529	32,744
退職給付引当金	334,384	328,836
長期未払金	16,840	5,400
資産除去債務	33,674	33,674
固定負債合計	2,865,504	3,161,181
負債合計	9,612,458	8,749,289
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,317,207	1,317,207
利益剰余金	3,959,601	3,821,587
自己株式	43,788	43,820
株主資本合計	6,746,708	6,608,661
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	41,736	4,054
その他の包括利益累計額合計	41,736	4,054
純資産合計	6,788,444	6,604,607
負債純資産合計	16,400,902	15,353,897

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 2 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	7,274,259	7,214,793
売上原価	6,381,646	6,453,470
売上総利益	892,612	761,322
販売費及び一般管理費		
運搬費	188,496	198,259
給料及び手当	193,438	193,251
賞与引当金繰入額	47,077	51,726
退職給付費用	18,829	18,756
減価償却費	40,375	47,869
のれん償却額	8,270	8,270
その他	300,048	311,674
販売費及び一般管理費合計	796,537	829,809
営業利益又は営業損失 ()	96,075	68,486
営業外収益		
受取利息	992	778
受取配当金	5,077	4,244
受取賃貸料	3,628	12,200
鉄屑売却収入	5,192	3,715
保険返戻金	-	9,315
その他	7,864	7,437
営業外収益合計	22,755	37,692
営業外費用		
支払利息	26,629	22,123
売上割引	2,536	1,407
賃貸費用	-	4,800
その他	748	832
営業外費用合計	29,914	29,164
経常利益又は経常損失 ()	88,916	59,958
特別利益		
固定資産売却益	601	343
特別利益合計	601	343
特別損失		
固定資産除却損	699	1,688
固定資産売却損	-	67
投資有価証券評価損	11,088	-
特別損失合計	11,787	1,756
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	77,731	61,371
法人税、住民税及び事業税	124,093	26,487
法人税等調整額	10,795	8,275
法人税等合計	113,297	34,763
少数株主損益調整前四半期純損失 ()	35,566	96,134
少数株主利益	-	-
四半期純損失 ()	35,566	96,134

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	35,566	96,134
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	16,233	45,790
その他の包括利益合計	16,233	45,790
四半期包括利益	51,799	141,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51,799	141,925
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	77,731	61,371
減価償却費	330,526	325,286
のれん償却額	8,270	8,270
退職給付引当金の増減額(は減少)	14,509	5,547
受取利息及び受取配当金	6,069	5,023
支払利息	26,629	22,123
投資有価証券評価損益(は益)	11,088	-
売上債権の増減額(は増加)	279,751	235,086
たな卸資産の増減額(は増加)	188,227	222,256
仕入債務の増減額(は減少)	334,595	847,069
長期未払金の増減額(は減少)	11,232	11,440
その他の負債の増減額(は減少)	30,127	31,518
その他	68,732	9,402
小計	246,986	76,506
利息及び配当金の受取額	6,100	5,128
利息の支払額	27,277	22,066
法人税等の支払額	139,791	95,969
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,018	189,413
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	695,556	211,103
有形固定資産の売却による収入	46,904	479
投資有価証券の取得による支出	30	30
無形固定資産の取得による支出	2,312	7,277
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	642,306	-
貸付けによる支出	1,000	11,293
貸付金の回収による収入	13,115	14,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,428	214,730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	464,541	969,941
社債の償還による支出	100,000	-
自己株式の取得による支出	-	32
配当金の支払額	41,641	41,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	393,817	11,732
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	483,264	415,876
現金及び現金同等物の期首残高	1,305,293	1,465,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,788,557	1,049,194

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	256,115千円	245,172千円
支払手形	19,535	26,050

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,788,557千円	1,049,194千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
現金及び現金同等物	1,788,557	1,049,194

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成23年 3月31日	平成23年 6月30日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成24年 3月31日	平成24年 6月29日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略していません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	5円94銭	16円07銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失()(千円)	35,566	96,134
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失()(千円)	35,566	96,134
普通株式の期中平均株式数(株)	5,982,726	5,982,717

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 堤 佳史 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 洋之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータは含まれていません。